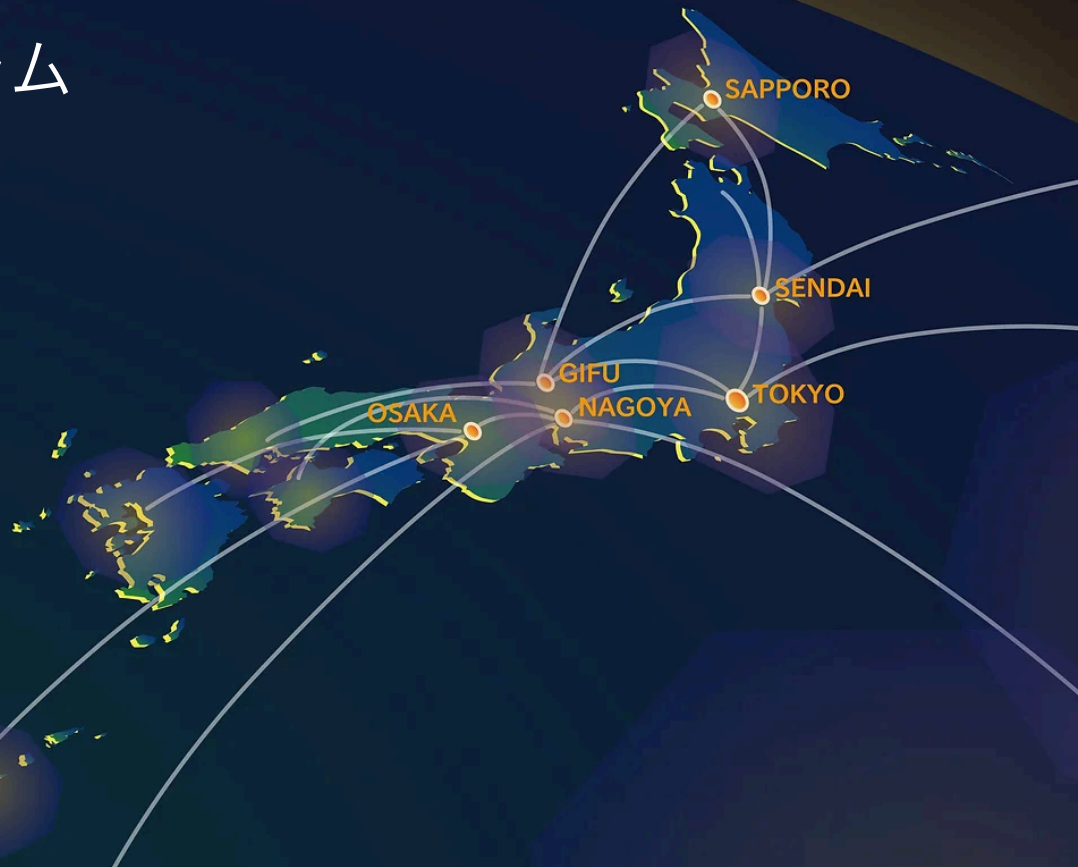


第4回 日本運動器理学療法超音波フォーラム in 札幌（ハイブリッド開催）

2023/3/19（日）9：00～17：00

会場：北海道公立大学法人 札幌医科大学
教育研究棟D101講義室



事前登録制（事前決算） ※Peatix

現地参加 先着150名 参加費 3000円

ウェビナー参加 先着450名 参加費 3000円

※オンデマンドの予定はありません。ご了承下さい。

新着情報

2022.3.6

第3回日本運動器理学療法超音波フォーラムは好評の内に終了いたしました。

contact us

事務局

〒500-8442 岐阜県岐阜市正法寺町30 正法寺ビル5-B
(株)運動器機能解剖学研究所

info@mysite.com

Tel: 058-214-7308

mail: ukk501@yahoo.co.jp

URL:<http://ukk501.wixsite.com/undouki>



TOP



大会長挨拶

谷口 圭吾

札幌医科大学
保健医療学部
理学療法学科 教授



第4回日本運動器理学療法超音波フォーラム（令和5年3月19日 札幌）の開催

ご挨拶

このたび、第4回日本運動器理学療法超音波フォーラムの代表世話人を拝命いたしました。何卒よろしくお願い申し上げます。

生体組織・器官の形態、機能、および性状は医学・医療の診断支援情報として有用であることは言うまでもありませんが、運動器理学療法領域の病態評価においても不可欠な要素です。超音波の魅力は汎用性や非侵襲性、機動性に富むことでありますが、最も重宝がられている点は運動器の形態・機能・性状の3要素を、我々理学療法士が自身の手でほぼ同時に取得、リアルタイムに可視化し、そして定量的な評価をおこなえることではないでしょうか。運動機能障害の原因を探索し、運動療法をはじめとした治療アプローチに科学的な根拠を与える強力なツールの一つとして超音波が多いに活用できることに疑いの余地はなく、国際的にも認められつつあります。平成30年、国民の信頼と期待に応える質の高い理学療法士を養成する仕組みを発展させるため、理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の一部を改正する省令が出され、令和2年度より新カリキュラムが施行されています。特筆すべきは専門分野の追加カリキュラムのなかで、これまでの規則にはない医用画像の評価が必修の教育内容に含まれたことです。未だ発展途上にある超音波画像評価が理学療法の一つとして益々定着し、今後の飛躍を遂げるためには実臨床での試行錯誤を重ねて応用の可能性を広く追求するとともに、学術的基盤の地道な構築が必須と思われます。

第4回の本フォーラムは、代表の林典雄先生が第1回の開催に合わせ発案され、刊行に至っている書籍名と北海道フロンティア精神にちなみ、運動器理学療法の最前線で新たな分野を開拓する高い志を更に抱ける機会となるよう『運動器理学療法超音波のフロンティアを拓く』をテーマとさせていただきます。最先端を歩む近接領域の研究者から超音波医学を学ぶことが理学療法超音波の発展に繋がることを願い、特別講演では超音波工学を専門とする群馬大学大学院理工学府特任教授の山越芳樹先生と、スポーツ科学・運動生理学を専門とする国立スポーツ科学センター研究員の安藤良介先生をお招きいたします。3月の札幌はまだ肌寒い時期ではありますが、熱い議論や忌憚のない意見交換ができる和やかな会となるよう尽力する所存です。皆さまのご支援をお願い申し上げるとともに、多くのご参加を心よりお待ちしております。

札幌医科大学 保健医療学部 教授
谷口 圭吾

contact us

事務局

〒500-8442 岐阜県岐阜市正法寺町30 正法寺ビル5-B

(株)運動器機能解剖学研究所

info@mysite.com

Tel: 058-214-7308

mail: ukk501@yahoo.co.jp

URL:<http://ukk501.wixsite.com/undouki>



TOP



第4回 日本運動器理学療法超音波フォーラム プログラム 令和5年3月19日(日)

9：00 開会の挨拶 札幌医科大学 谷口 圭吾 先生

9：05～10：15 シンポジウム1『神経・痛み、教育』
座長：中部学院大学 浅野 昭裕 先生

演題1『末梢神経を基軸としたサイレント・マニピュレーション後の可動域訓練』
城東整形外科 渡部 裕之 先生

演題2『座位痛を可視化する』

よしだ整形外科クリニック 古田 亮介 先生

演題3『de Quervain病の圧痛部位から考える今後の展望 probe compression test変法を用いての検討』
いまむら整形外科 山本 紘之 先生

演題4『理学療法教育におけるエコーの活用』

大阪電気通信大学 成 俊弼 先生

演題5『札幌医科大学超音波グループの活動報告 -4年間の歩み-』
羊ヶ丘病院 榊 善成 先生

10：25～11：15 特別講演1

『超音波エコーを使う上で知っておきたい基礎と新展開

画像のアーティファクト、安全性の考え方、新たなせん断波エラストグラフィー』

講師：群馬大学大学院理工学府 山越 芳樹 先生

座長：運動器機能解剖学研究所 林 典雄 先生

11：15～12：20 お昼休憩等

12：20～13：05 シンポジウム2『手指関節』

座長：文京学院大学 福井 勉 先生

演題1『超音波検査診断装置を用いた関節リウマチの評価への応用』

あずまりウマチ・内科クリニック 辻川 勇次 先生

演題2『ばね指の様々な病態とリハビリテーション』

西川整形外科 大森 康高 先生

演題3『ばね指に対するA1ブリーストレッチの効果検証』

くらげ整形外科幕張駅北口手のクリニック 西牧 祐輔 先生

13：15～14：05 特別講演2

『骨格筋の弾性は運動機能を推定する因子になり得るか？』

講師：日本スポーツ振興センター・国立スポーツ科学センター 安藤 良

介 先生

座長：札幌医科大学 谷口 圭吾 先生

14：15～15：15 シンポジウム3 『膝・大腿』

座長：大阪電気通信大学 小柳 磨毅 先生

演題1『内側半月板後根損傷(MMPRT)に対する内側半月板逸脱量(MME)の変化について』

慶友整形外科病院 金子 貴俊 先生

演題2『ハムストリングス各筋の伸長に伴うストレイン・スティフネス関係』

札幌医科大学大学院 中尾 学人 先生

演題3『後十字靭帯損傷膝における後方不安定性の評価』

よこい整形外科健康スポーツクリニック 沖本 遼 先生

演題4『膝前面痛に対する理学療法の評価と治療戦略』

相模原協同病院 宮田 徹 先生

15：25～16：35 シンポジウム4 『肩・肘、胸郭』

座長：東北大学病院 村木 孝行 先生

演題1『内側型野球肘治療の再考～リリースフェイズに着目して～』

メディカルベース新小岩 笹川 郁 先生

演題2『野球選手のUCL損傷に対するPRP療法におけるSuperb Micro-vascular Imaging (SMI)を用いた血流評価』

慶友整形外科病院 川鍋 慧人 先生

演題3『投球障害肩に対する我々の超音波エコー研究』

名古屋スポーツクリニック 福吉 正樹 先生

演題4『肩腱板断裂患者における肩甲上腕関節の動的アライメントの特徴

ー超音波診断装置とビデオカメラの同期による画像解析ー』

札幌医科大学附属病院 時田 諒 先生

演題5『胸郭可動域訓練が肋間筋スティフネスに与える影響』

平成会病院 横山 祐 先生

16：35～閉会の挨拶 文京学院大学 福井 勉 先生（第5回日本運動器理学療法超音波フォーラム 大会長）

contact us

事務局

〒500-8442 岐阜県岐阜市正法寺町30 正法寺ビル5-B

(株)運動器機能解剖学研究所

info@mysite.com

Tel: 058-214-7308

mail: ukk501@yahoo.co.jp

URL:<http://ukk501.wixsite.com/undouki>

アクセス

札幌医科大学HP アクセス情報はこちら

地下鉄

- 最寄り駅:地下鉄東西線「西18丁目駅」
- 経路:札幌駅・大通駅から
 - 南北線「さっぽろ」駅(JR札幌駅直結)から「大通」駅(2分)
 - 「大通」駅で東西線「宮の沢」行に乗換え「西18丁目」駅(4分)下車
 - 「西18丁目」駅6番出口より徒歩約3分。

市電

- 最寄り駅:「西15丁目」
- 経路:
 - 「西4丁目」駅から「西15丁目」駅(8分)下車
 - 「西15丁目」駅から徒歩5分。

バス

- 最寄りバス停:「医大病院前」
- 経路(札幌駅(バスターミナル)から、JR北海道バス):
 - JR札幌駅「バスターミナル7番のりば」から、JR北海道バス(啓明線[51])「医大病院前」(10分)下車
- 経路(桑園駅から、JR北海道バス):
 - 桑園駅(駅前ロータリー)からJR北海道バス(桑園円山線【桑11】)「医大病院前」(6分)下車



contact us

事務局

〒500-8442 岐阜県岐阜市正法寺町30 正法寺ビル5-B

(株)運動器機能解剖学研究所

info@mysite.com

Tel: 058-214-7308

mail: ukk501@yahoo.co.jp

URL:<http://ukk501.wixsite.com/undouki>

↑
TOP